



## 地震の惨禍 教訓に

『春季全国火災予防運動』と『丹後大震災』

**火** 災予防の意識を高め、市民のかけがえのない命や大切な財産を守ることを目的に、毎年3月1日から7日まで、春季全国火災予防運動が実施されます。

皆さんはこの運動が丹後大震災と繋がっていることをご存知でしょうか。

丹後大震災は、92年前の昭和2年3月7日に丹後半島付け根付近で発生した直下型の大地震。マグニチュード7.3を記録し、死者2,925人、負傷者7,806人という甚大な被害をもたらしました。住宅の倒壊はもとより、午後6時27分に発生したため、炊事や暖房の時間と重なり、極めて多くの焼死者が出ました。中でも、峰山町の被害は凄まじく約1,103人が亡くなり、全焼・全壊した家屋が8割を超えたと言われています。

火災予防運動(防火防災意識の普及活動)は、この震災を機に、昭和5年に近畿で始まり、昭和20年から全国で実施されるようになります。



昭和2年3月1日に撮影された積雪のある峰山町内の様子



大正初期の峰山  
金刀比羅神社より本町通り北方を望む



大地震の9日後の峰山  
本町通北方を望む



現在の町通り  
31.1.24 撮影

### 【住宅防火 7つのポイント!】

過去に起こった惨禍を教訓とし、日頃から一人一人が防火意識を持ち、火災を未然に防ぐことが大切です。

住宅火災の火元は、「たばこ」「ストーブ」「電気器具」「ガスコンロ」が多く、布団などの布製品に引火し燃え広がることによって起こっています。

皆さんも次のことに気を付けましょう!

- ①「寝たばこ」は絶対にしてはいけない
- ②ストーブ周辺に燃えやすい物を置かない
- ③コンロに火を点けたまま離れない
- ④火災報知器で逃げ遅れを防ぐ
- ⑤カーテンなどには防火品を使用する
- ⑥住宅用消火器を設置する
- ⑦日頃から近隣との協力関係を作る

### 峰山町の人口

単位:人

	H31.1末	前月比	H30.12末
0歳～14歳	1,479	3	1,476
15歳～64歳	6,777	2	6,775
65歳～	3,935	-1	3,936
合計	12,191	4	12,187

## 峰高生が地域づくりに参加



めサンサンロードは、峰山庁舎付近から東に延びる小西川沿い全長770mの遊歩道です。地域団体が協力し合いながら整備し、散歩やジョギングコースとして市民に親しまれています。

京丹後市ボランティア連絡会峰山支部では、この遊歩道を活用し、5年前から「花いっぱい運動」に取組んでいます。春には、美しい芝桜をたくさん見ることが出来ます。

この度、花いっぱい運動の広報看板を峰山高校産業工学科デザイン系統3年生の杉本舜哉さんと安田裕香さんが作成し、歩道沿いのフェンスに設置しました。

杉本さんは「初めての経験なので良い作品できるか不安でした」、安田さんは「スポンジで着色する際、作業ムラができないようにするのが難しかった」と作品づくりの難しさを語っていました。

若者から高齢者まで、たくさんの方達の想いが込められた遊歩道を是非歩いてみてください!



看板を持つ杉本さんと安田さん。隣には、ボランティア連合会の方々と学科の先生。